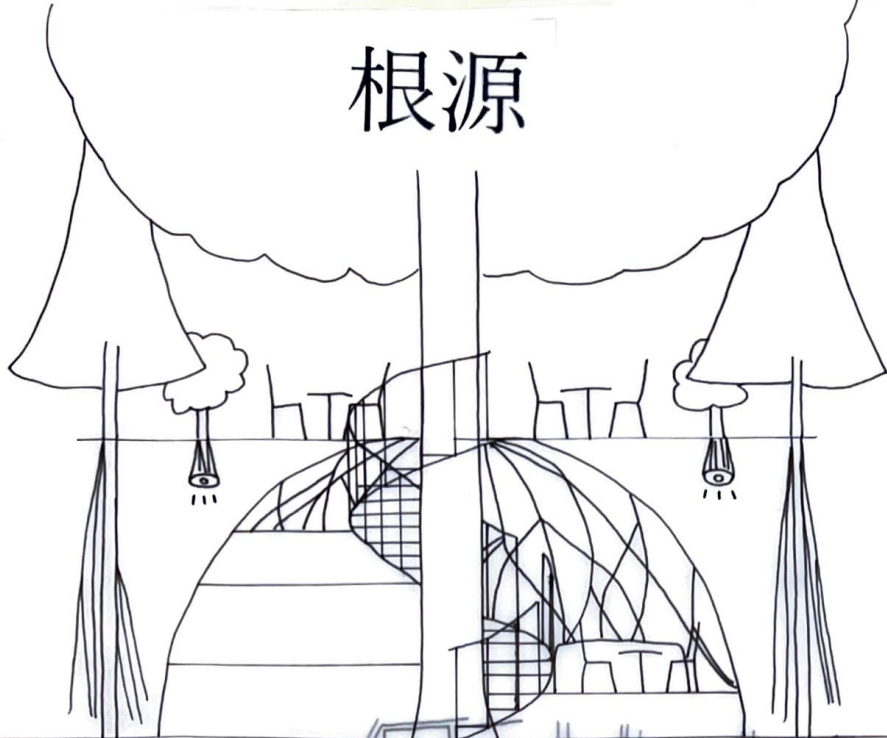
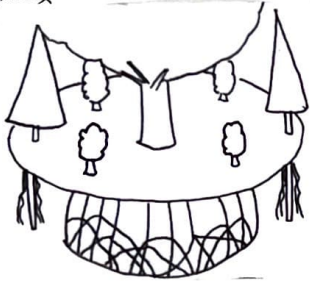


根源

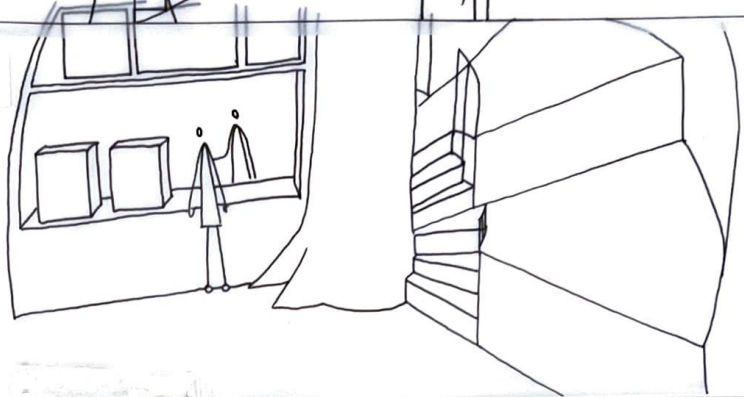
断面図 1/50
▽GL



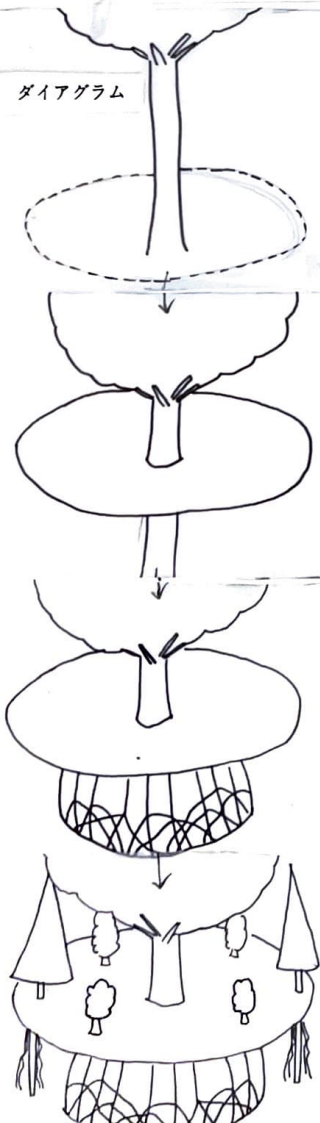
外観パース



内観パース



ダイアグラム

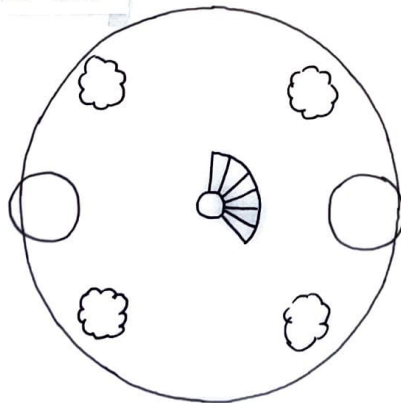


設計趣旨

地面を引き上げることで、GLが二つ生まれる。下のGLは建物としてであるが、上のGLは広場となっており、そこにいる人はその地面がGLであるように感じられる。

現在の建築は、人以外の生き物を拒絶していると考えられる。時代とともにほかの生き物と共存しなくなり、それが当たり前となってしまっている。ほかの生き物と共存していく建物こそが建築の原点、つまりグラウンドゼロであると考えた。ドーム状の壁は木の根、天井は引き上げた地面で設計することで、人工的な壁や地面でなくし、自然の中、地面の中でほかの生き物と共存し、自然に溶け込んでいる建物となる。また、虫や小動物の越冬のためにインセクトホテル、鳥の住処として巣箱などを設置する。

2階平面図 1/100



1階平面図 1/100

